



朝日鉄道

# 檜原 ⇄ 幹子



令和元年 6月15日

第 26 号

↓バックナンバーはこちらから↓  
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/kyoury-okutaihosoi.html>

**梅雨になりましたね！  
細井幹子（ほそいもとこ）  
です**

晴れたり雨が降ったりと、はつきりしない天気が続いています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。皆様工房に6月2日に来たお蚕様も4齢となり、日に日に大きくなっています。今までは工房でのお世話だけだったのですが、今年度から私も家にお蚕様を迎えて飼育を始めました。朝晩、桑を探して集落を歩き回り、お蚕様との生活を満喫しています。本当は、家の中でずっと眺めていたのですが、私の自宅は害虫からの襲撃を受けており、殺虫剤を使用しているため、お蚕様を殺虫剤から守るために車庫で飼育しています。お蚕様がゆつくりと動いていたり、桑を食べていたりする姿を見ると、とても心が和みます。桑をあげる時に話しかけたり、クラシック音楽を聞かせてあげると良い繭がでるかな？と考えたり、親バカぶりを発揮しています。

お蚕様が脱皮している姿をまじまじと観察したいという、ささやかな夢があるのですが、未だに叶っていません。今後心を入れてお世話をしながら見守っていこうと思います。

**提供したまゆの花が  
文部科学大臣賞を受  
賞しました**

公益財団法人日本手工芸作家連合会が主催している「第52回 創作手工芸展」にて当会が製作したまゆの花を使って、フラワーアイティストの藪本一翠（やぶもといつすい）先生が作成した作品が、最高位の文部科学大臣賞を受賞しました。藪本先生は当会が開催したフラワーアレンジメント講座の講師をお願いするなど、まゆの花に非常に愛情を持って接していただいています。まゆの花の魅力を最大限に生かして頂いた先生に感謝です。

審査員長で日本画家の大矢紀（おおやのり）先生がくださった講評では「平面まゆの光沢や薄さが程よく、まるで溶けそうな雰囲気の色に魅了される。」とまゆの花を評価してください。詩的な美しい表現をしていただいたことに感動しました。



受賞した作品の前で藪本先生と記念写真

私もドレスにまゆ玉のネックレスを着けて、おめかししています。今後、より嬉しい報告が皆様にできるように精進いたします。

**次号もお楽しみに！**

（文・写真・編集 細井幹子）